品質保証書

このたびは、ミヤエポック製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。この製品は当社の厳密な検査に合格したものです。お客様の正常なご使用のもとで、万一ご購入日より１年以内に故障が生じた場合は、本品質保証書をご提示頂ければ右記規定により修理させて頂きます。

品　名	☐ Miya Epoch R800/12V
	☐ Miya Epoch R800/24V
製造No.	製造No.シールを貼って下さい

ご購入年月日　　年　月　日

ご愛用者様　住所・氏名・TEL

住所

TEL

氏名

ご購入店名

株式会社 ミヤエ

キリトリ線

保証規定

●保証期間　ご購入日より 1年間
●免 責 額　2,000円
●保証範囲　故障の原因が下記の場合は有償となります。
①乱用、または使用方法の誤りによるもの。
②天災、火災、地変等によるもの。
③ショック、または加圧、ならびに保管上の不備によるもの。
④釣り以外での使用によるもの。
●修理品の送料はお客様にてご負担願います。
●本製品の保証修理以外は補償致しかねます。
●この保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書の取り扱い

●お客様にご迷惑をお掛けしないために、ご購入年月日、ご愛用者様の住所、氏名、ご購入店名は必ずご記入ください。
※ご購入年月日、ご購入店名につきましては、ご購入店様にて記入して頂きますようお願い致します。
●保証修理の際は必ず左の品質保証書を添付の上、お申し付けください。ご提示のない場合は有償となります。

ご注意

ミヤエポック製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り（廃番）後、７年とさせて頂きます。７年以上経過した機種につきましては、修理・オーバーホールができません。リサイクルショップ等で中古品を購入される場合など、特にご注意ください。製造打ち切り（廃番）情報は、下記 URL か、ミヤエポック事業部アフターサービスにお問い合わせください。

アフターサービスのお問い合わせ

修理品については不具合個所を明記の上、下記までお送りください。

株式会社 ミヤエ
ミヤエポック事業部アフターサービス
〒577-0023　大阪府東大阪市荒本 1-2-32
TEL.(06)6782-0035　FAX.(06)6782-0040

お客様控え

この控えは、お客様で大切に保管してください。

品　名	☐ Miya Epoch R800/12V
	☐ Miya Epoch R800/24V
製造No.	製造No.シールを貼って下さい

ご購入年月日　　年　月　日

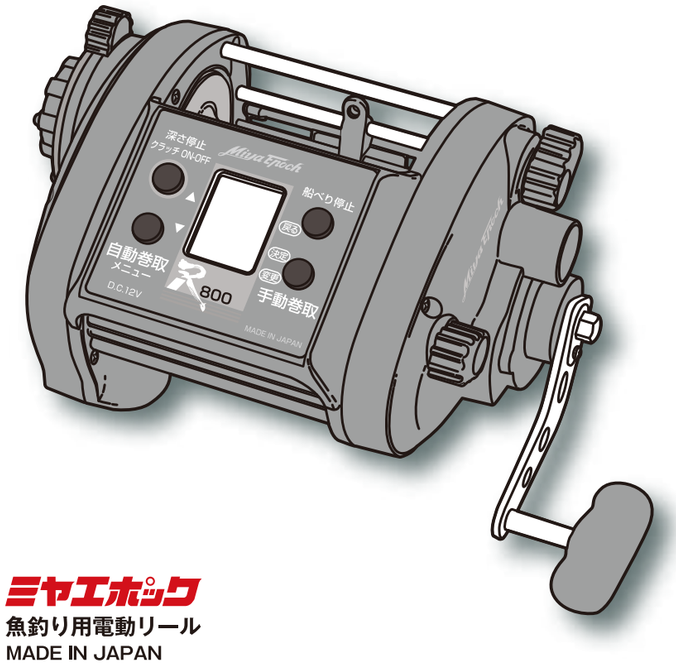
ご購入店名

製造発売元 株式会社 ミヤエ
■ミヤエポック事業部
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32 TEL.06-6782-1010
■東京営業所
〒144-0051 東京都大田区西蒲田5-27-5 TEL.03-3731-7100
http://www.miyaepoch.jp

取扱説明書

Miya Epoch R800

12V・24V



ミヤエポック
魚釣り用電動リール
MADE IN JAPAN

このたびは、ミヤエポック製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
安全に正しくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
本書の裏表紙に品質保証書があります。紛失しないように保管してください。
本書に記載しているイラストはイメージ図です。

品質保証書付き

もくじ

はじめに

同梱物 2
安全上のご注意 3
基本仕様一覧/機能・制御について 4
各部の名前 5
コントロールパネル各部の名前・液晶画面の構成 6
電源を接続する・サポートプレートの取付方法 7〜8
釣り糸の準備 9〜12

基本操作

釣り糸を出す方法 13〜14
釣り糸を巻き取る方法・ドラグの調整 15
船べり停止機能・深さ停止機能 16

機能

スピードレバー・シフトレバー 17
メニュー画面 18

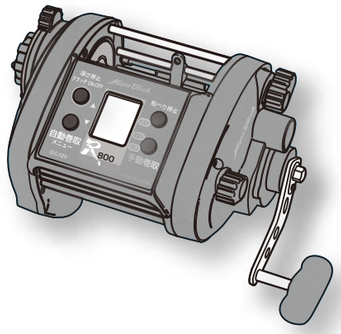
困った時に・保証など

トラブル時の交換方法 19
おかしいな？と思ったら 20
アフターサービスについて 21
電動リールのお手入れについて 22
品質保証書・保証規定 裏表紙

同梱物

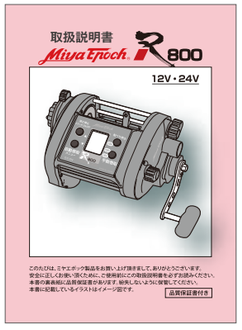
本製品を箱から取り出しましたら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。万一不足のものがありましたら、株式会社ミヤマエ・ミヤエポック事業部(TEL.06-6782-1010)までご連絡ください。

❶電動リール本体



❷電源コード(3m)

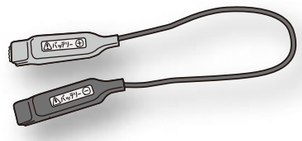
❸取扱説明書
(品質保証書付き)



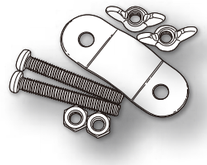
❹製造No.シール

❺リールグリース

❻直列用コード
(24V仕様のみ)



❼サポートプレート部組



安全上のご注意

●ここに記した内容は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●表示の注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示し、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次のように表示しています。

禁止・警告・注意の意味

禁止	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危害が、切迫して生じることが想定される内容を示します。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが、想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

電源に関するご注意

禁止 電源コードの改造はしないでください。

警告 電動リールの電源は正しい指定電圧でご使用ください。
本機はDC(直流)12Vあるいは24V仕様です。AC(交流)100Vや200V等に接続しますと焼損したり、使用不可能となります。

注意 電源コードはご使用前に必ず点検してください。
長くご使用されている間に断線やショート(短絡)している場合があります。断線の場合、魚釣りが出来ませんし、ショートしている場合は、釣り船の配線が焼けたり、バッテリーが故障または焼損する恐れがあります。

注意 電動リールに正しく電源コードを接続しても、作動または液晶画面が表示されない場合は、直ちに電源コードを外してください。そのままにしますと故障や焼損の原因となります。

電動リール使用上のご注意

禁止 電動リールを魚釣り以外の目的に使用しないでください。

禁止 電動リールを分解・改造しないでください。

警告 スプールが回転している時は、回転部分に触れないでください。
ケガをする恐れがあります。

警告 釣り糸を通すガイドホルダーに指を近づけて魚釣りをしないでください。
指を挟まれてケガをする恐れがあります。

注意 幼児の手の届くところでは、保管・使用しないでください。

Miya Epoch R800 仕様

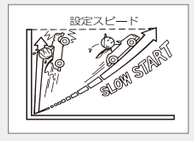
品番	Miya Epoch R800	
電源	DC-12V	DC-24V
最大糸巻量 ミヤ NEWディープセンサー(PE) 使用時	PE 5号 1200m　PE12号 500m PE 6号 1000m　PE15号 300m PE 8号 800m　PE20号 200m PE10号 600m	
瞬間最大巻上力 (スプール最小径の時)	75kg(735N)	75kg(735N)
持続巻上力	スピードモード 25kg(245N) パワーモード 40kg(392N)	
最大巻上速度 (JAFS 13V) (無負荷・スプール最大径の時)	165m/分(180m/分)	
ドラグ耐力	20kg(196N)～70kg(686N)	
巻上方式	3ウェイ/電動・手動・電動+手動	
手巻きギヤ比	スピードモード 1:5 パワーモード 1:1.8	
機能・制御	自動巻取、手動巻取、超スロー巻き上げ、クラッチON-OFF、深さ停止、船べり停止、スロースタート・スローストップ、無段階変速、＋－逆接続防止、過負荷停止制御、温度異常制御、バッテリー電圧低下検出、過電圧検出	
液晶表示	メートル表示・深さ停止位置表示・ドラグ値表示・スピード設定値表示 温度異常表示・電圧警告表示・メニュー画面表示・点検時期表示	
使用温度	-10℃～80℃	
ボールベアリング	11個	
リール自重	2.7kg	
付属品	電源コード (3m)、直列用コード (24V仕様のみ) サポートプレート部組、リールグリース	

※電源電圧について、12V仕様は12V、24V仕様は24Vで測定しています。
※本仕様は、改良などのため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

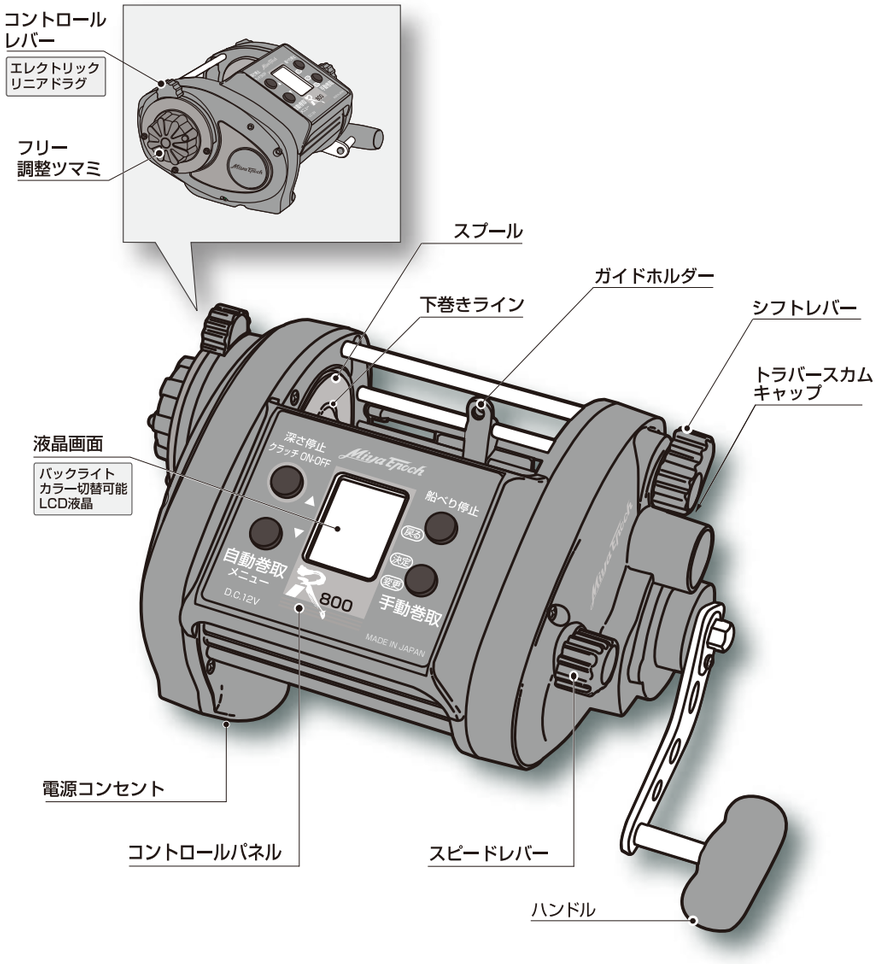
機能・制御について

●スロースタート制御
自動巻取スイッチを押して放すとスピードコントロールで設定されている速度まで最低速度よりなめらかに始動します。
●スローストップ制御
自動巻取中、船べり停止位置の手前では巻き取り速度を徐々に減速し、なめらかに停止します。
●＋－逆接続防止制御
電源を＋－逆に接続すると液晶画面が点灯せず、作動しません。
●過負荷停止制御
モーターに大きな負荷がかかり過ぎると、巻き取りを停止し、液晶が約3秒点滅します。
●温度異常制御
モーターなどの温度異常を検出した場合、『温度異常』を表示し巻き取りを停止します。
『温度異常』で停止した場合、2分～3分間は巻き取りを再開することができません。

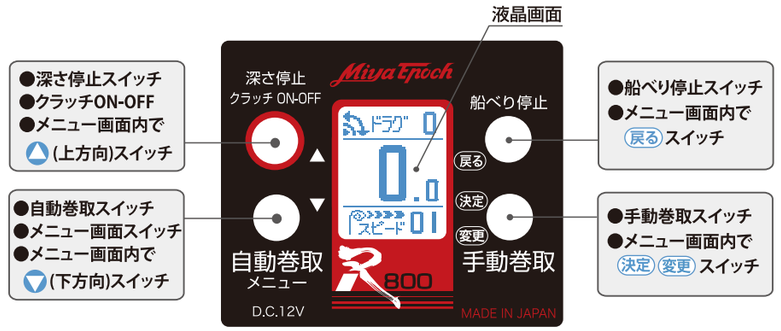


各部の名前

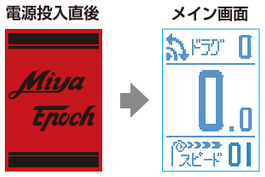
Miya Epoch R800 (12V・24V) 本体各部の名前



コントロールパネル各部の名前

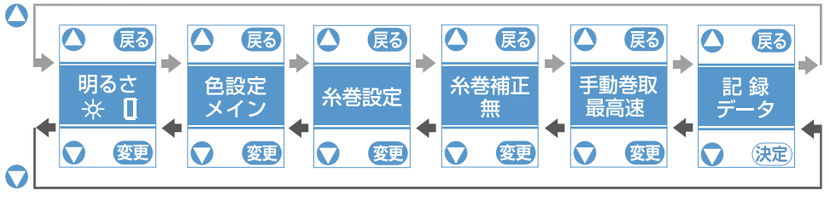


液晶画面の構成



- 上下 メニュー間を移動します。
- 戻る メイン画面に移動します。
- 戻る 前の画面に移動します。
- 変更 メニュー内の変更したい項目で変更スイッチを押すと選択画面に移動します。
- 決定 選択画面で変更する項目を選び決定スイッチを押します。

船べり停止状態で



明るさ選択画面の例

+2 | +1 | 0 | -1 | -2

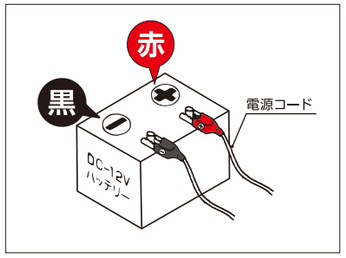
明るさは5段階に調整できます。
明るさを +1 に変更する場合は、変更スイッチを押し上下で +1 を選び、決定スイッチを押します。

電源を接続する

1 DC-12V仕様の場合

電源コードをバッテリーに接続します。

バッテリーの⊕側に電源コードの⊕クリップ(赤)を挟み、⊖側に⊖クリップ(黒)を挟んで下さい。
(釣行の際は、バッテリーはなるべく海水のかからない安定した場所に置いて下さい)

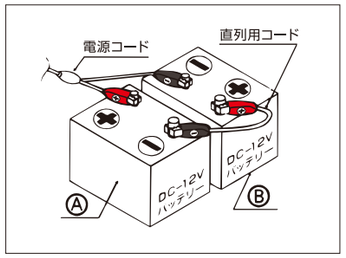


DC-12V 仕様

DC-24V仕様の場合

直列用コードと電源コードをバッテリー(DC-12V)2個に接続します。

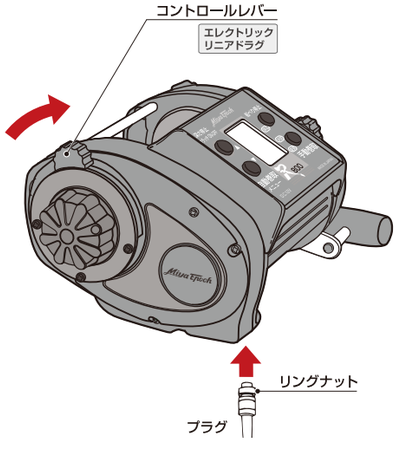
1. バッテリーⒶの⊖側に直列用コードの⊖クリップ(黒)を挟み、バッテリーⒷの⊕側に直列用コードの⊕クリップ(赤)を挟みます。
2. 電源コードの⊕クリップ(赤)をバッテリーⒶの⊕側に挟み、⊖クリップ(黒)をバッテリーⒷの⊖側に挟みます。



DC-24V 仕様

2 電源コードをリールに接続します。

リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーの状態にします。電源コードのプラグをリールのコンセントに接続して、リングナットを締め付け、しっかりと固定してください。
※電源が入るとコントロールレバーの位置によりスプールが動きます。

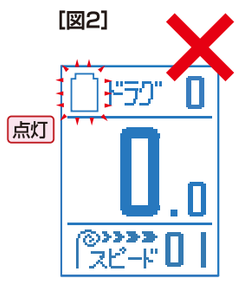


3 電源が正しく接続されますと液晶画面は下の[図1]のように表示されます。

[図1]

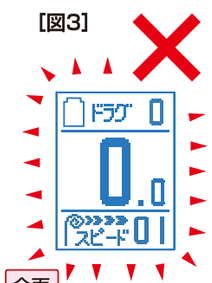
使用可能電圧
12V仕様:10.6～18.9V
24V仕様:20.1～31.9V

[図2]



電圧警告
低電圧

[図3]

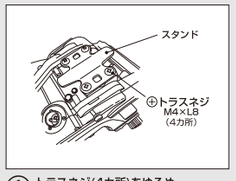


電圧警告
高電圧

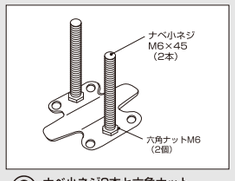
※12V 仕様は、10.5V 以下でバッテリーマークが点灯し、19V 以上で画面全体が点滅します。
※24V 仕様は、20V 以下でバッテリーマークが点灯し、32V 以上で画面全体が点滅します。
(バッテリーマークが表示される電圧範囲は、実際のご使用されている電圧と多少誤差があります。)
※使用可能電圧範囲でご使用ください。

警告 AC100V・AC200Vなどを接続すると焼損して使用できなくなったり、事故の原因にもなりますので、接続しないでください。

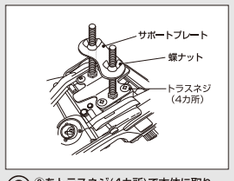
サポートプレートの取付方法



① トラスネジ(4カ所)をゆるめ、スタンドを外します。



② ナベ小ネジ2本と六角ナット2個で固定します。



③ ②をトラスネジ(4カ所)で本体に取り付けます。竿を取り付けてからサポートプレートを通し、蝶ナットでとめます。

※トラスネジ(4カ所)はゆるみ止め加工を施してありますが、取り外しは5回位までとしてください。

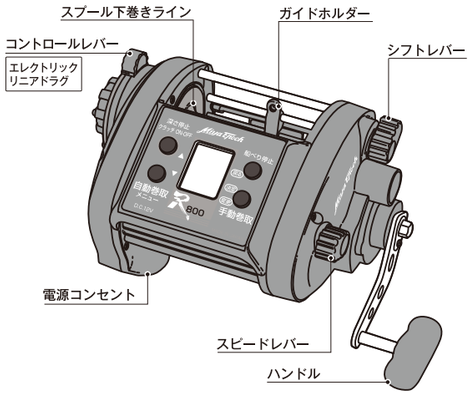
釣り糸の準備

1 釣り糸をガイドホルダーに通しスプール軸に2〜3回巻きつけてスプールに結びます。

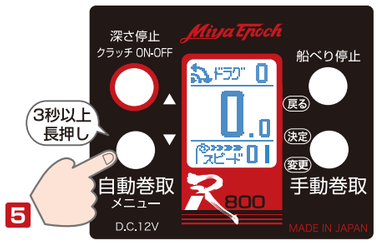
2 電源を接続します。(P7〜8参照)

3 シフトレバーをスピードモード(手前側)にし、スピードレバーは最高速(奥側)にしてください。(最高速で巻き取りするようにしてください)

4 コントロールレバーを奥に倒し、ドラグを効かせます。

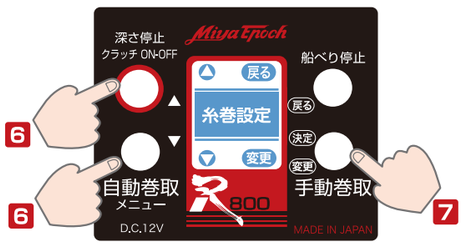


5 メイン画面からメニュースイッチを押してメニュー画面に切り替わります。



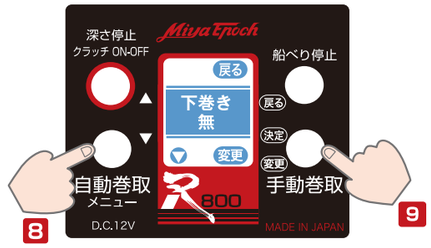
6 ▲スイッチまたは▼スイッチを押して『糸巻設定』を選びます。

7 変更スイッチを押すと『下巻き無』の画面に切り替わります。

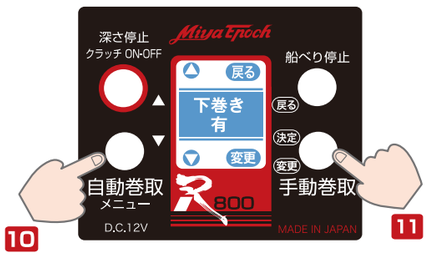


8 スプールに下巻きが無い場合は▼スイッチを押すと『号数設定』に切り替わります。

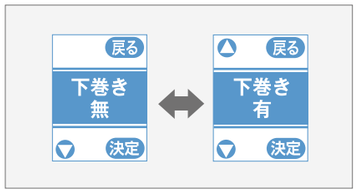
9 『下巻き有』に切り替える場合スプールに下糸が下巻ラインまで巻かれているか確認をしてください。



10 ▼スイッチを押して『下巻き有』に切り替えます。



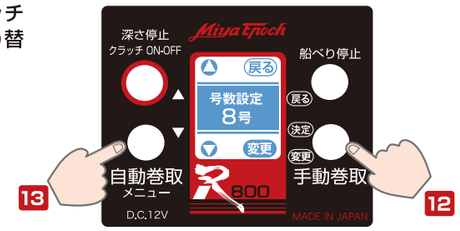
11 『下巻き有』を選び、決定スイッチを押すと『下巻き有』の画面に切り替わり、▼スイッチを押すと『号数設定』に切り替わります。



釣り糸の準備

12 糸の号数をかえる時は、変更スイッチを押して『号数設定』の画面に切り替わります。（**14**へ）

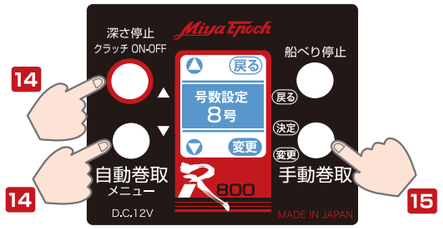
13 糸の号数をかえたい時は▽スイッチを押すと『巻取りスタート』画面に切り替わります。（**16**へ）



14 糸の号数は△▽スイッチで選びます。

※下巻きの場合、15号・20号は選ぶことができません。

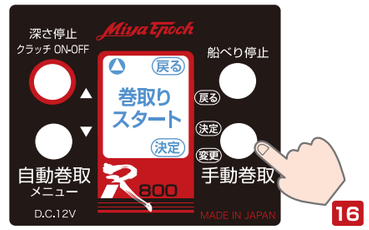
15 決定スイッチを押すと『号数設定』画面に切り替わり、選んだ号数が表示されます。



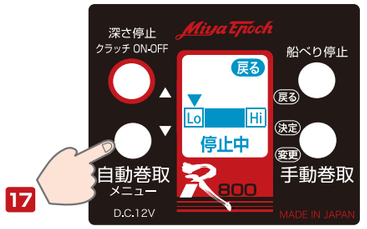
▽スイッチを押すと『巻取りスタート』画面に切り替わります。（**16**へ）

注意　糸は当社指定の『ミヤ・NEWディープセンサー(PEライン)』をご使用ください。それ以外の糸の場合、正しく表示されない場合があります。

16 糸巻きをする準備ができましたら決定スイッチを押します。



17 自動巻取スイッチを押し、巻き取りを開始してください。



18 巻き取り中は▼が■範囲にくるようにテンションを調整してください。

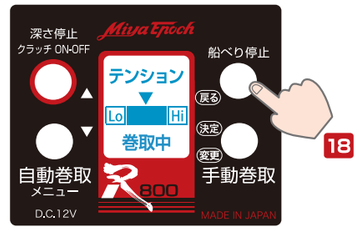
Hi はテンションが強過ぎです。

Lo はテンションが弱過ぎです。

必要量の糸を巻いたら、自動巻取か手動巻取スイッチを押して巻き上げを停止してください。

戻るスイッチを押し糸入力を完了してください。

メイン画面に切り替わります。



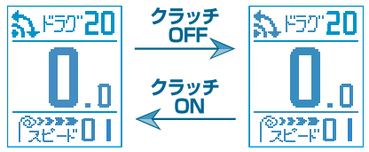
釣り糸を出す方法

クラッチ機能で釣り糸を出す方法

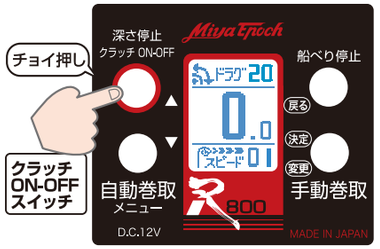
コントロールレバーが『ドラグ 0』以外の『ドラグ 1』～『ドラグ 32』表示の位置にある時、クラッチ ON-OFF スイッチを押すとスプールのフリーとロック（ドラグ ON）を切り替えることができます。

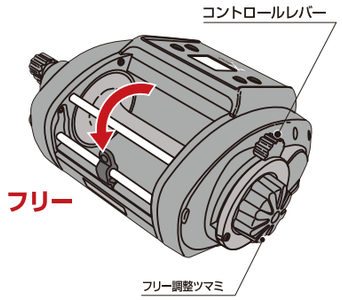
1 釣り糸がガイドホルダーに通っているか確認してください。

2 ドラグ表示が『ドラグ 1』～『ドラグ 32』の時にクラッチ ON-OFF スイッチを押すとドラグが緩みスプールがフリーになり、釣り糸を出すことができます。



釣り糸の出を止めたい場合は、もう一度クラッチ ON-OFF スイッチを押してください。ドラグ値が表示されます（コントロールレバーの位置を表示）。クラッチ機能を使うと設定したドラグ力をほとんど変えることなく釣り糸を出すことができ、大変便利です。



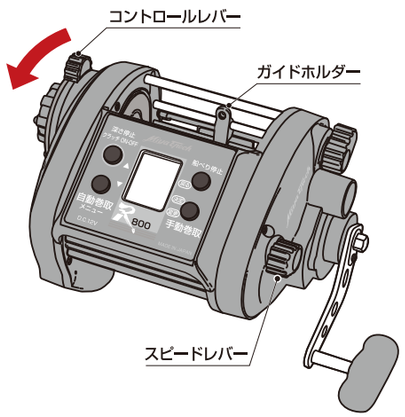


フリー調整ツマミはスプールのフリー位置を調整するためのもので、ドラグ力を強くするためのものではありません。ツマミは約260度しか回転しません。

コントロールレバーで釣り糸を出す方法

1 釣り糸がガイドホルダーに通っているか確認してください。

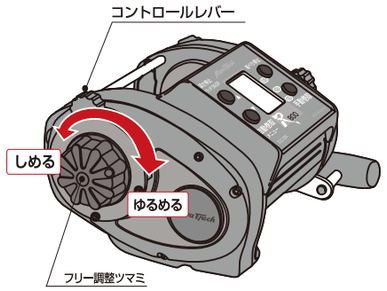
2 コントロールレバーを手前に引くと『ドラグ 0』の表示に変わり、スプールがフリーになり釣り糸を出すことができます。



バックラッシュを防止するには

フリー調整ツマミを回して、スプールにブレーキをかけながら釣り糸を出してください。

※Miya Epoch R800 のドラグは非常になめらかなため、フリー調整ツマミを少し締め付けることによってスプールのブレーキとして使用することができます。



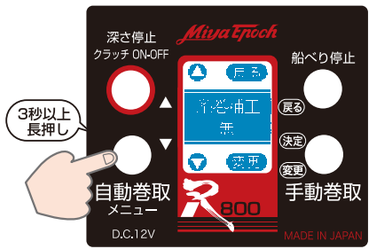
釣り糸の補正

次の場合、メニュー画面内の糸巻き補正画面から船べり停止位置を補正してください。

■糸切れ補正
釣り糸が切れたり、傷んだ部分を切り取った時切れたところまで巻き取り、船べり設定

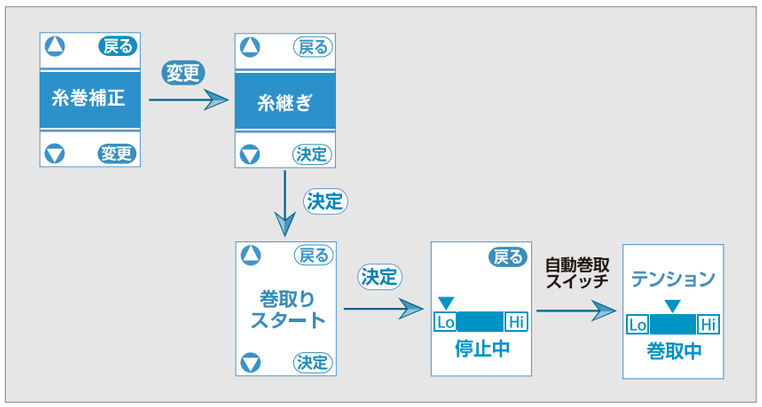
■糸継ぎ補正
釣り糸を継ぎ足した時

※釣り糸を継ぎ足す場合は、継ぎ足す糸を結んでから電源を入れ、巻き取りを行い引き続き糸継ぎ補正を行ってください。糸継ぎ補正を行わず電源を抜いてしまうと、m表示に誤差が生じますので、特にご注意ください。

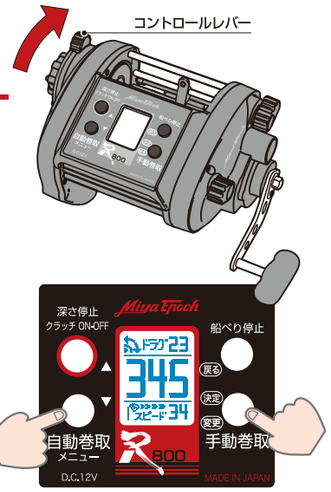


糸切れ補正・糸継ぎ補正の方法

糸巻き補正画面で変更(手動巻取)スイッチを押し『糸継ぎ』を選び、決定(手動巻取)スイッチを押せば、巻取りスタート画面に移ります。そして、自動巻取スイッチを押し巻取りを開始します。戻る スイッチを押せばメイン画面に戻ります。



釣り糸を巻き取る方法



釣り糸を巻き取るにはコントロールレバーを奥に押し、以下の方法で巻き取ってください。

■自動巻取スイッチを押す

＊スイッチを押して放すと、投入した仕掛けを設定されているスピードで船べり停止位置 0.0 まで巻き取ります。
＊自動巻取中に再度、自動巻取スイッチまたは手動巻取スイッチを押すと巻き取りを中止します。
＊液晶画面の表示が 0.0・1999…… の時は巻き込み防止のため自動巻取スイッチを押しても巻き取りは行いません。

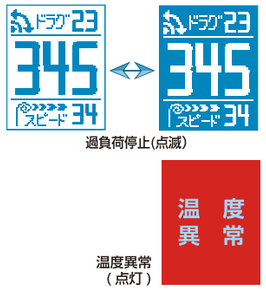
■手動巻取スイッチを押す

＊スイッチを押している間は設定された速度で巻き取りを行い、スイッチを放すと巻き取りを中止します。
＊ 0.0 の表示の時でも手動巻取スイッチを押している間は巻き取りが可能です。スイッチを放すと中止します。
＊手動巻き取り時のスピードは、メニュー内の『手動巻取』画面より『最高速』または『可変』に設定することができます。初期設定は『手動巻取 最高速』になっています。
(『可変』とはスピードレバーの位置に依存します)
＊糸フケを取る時や、少しだけ巻き取りたい時にお使いください。
＊スロースタート制御・スローストップ制御は行いません。

過負荷停止/温度異常停止
＊大物との長時間のやり取りなど、リールに大きな負荷がかかるとモーターや電気回路の保護のため、液晶表示部全体が点滅(過負荷停止)したり『温度異常』を表示し、巻き上げを含む一切の動作が停止することがあります。

過負荷停止からの復帰
＊液晶表示部が点滅から点灯に変わるまで待って、再び自動巻取を行ってください。

温度異常停止からの復帰
＊リールの温度が下がり『温度異常』表示が消えるのを待って、再び自動巻取を行ってください。



ドラグの調整

■ドラグの使い方

コントロールレバーを手前に引けばドラグがゆるみスプールがフリーになります。『ドラグ0』と表示。
奥に倒せばドラグがしまります。液晶にドラグの目安値が表示されます。『ドラグ1』～『ドラグ32』と表示。

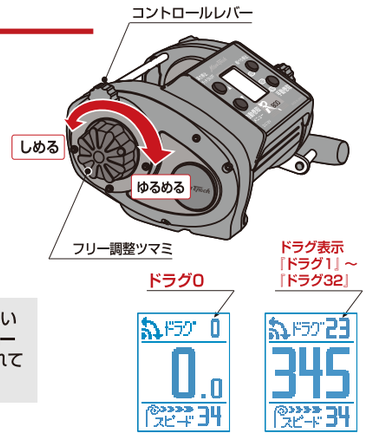
■バックラッシュ防止

フリー調整ツマミをしめて調整してください。

■ヒット中のドラグ調整

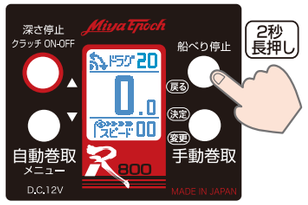
魚がかかった際は、コントロールレバーを前後させることでドラグの調整ができます。

ドラグの調整はモーターで行っていますので、電源が入っていない時はドラグ力の調整はできません。電源を抜く時は必ずコントロールレバーを手前（ゆるめる側)に引いて「ドラグ 0」の表示がされていることを確認してから電源を抜いてください。



船べり停止機能

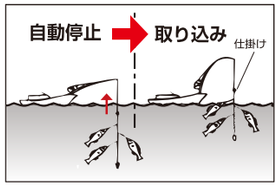
船べり停止とは 0.0 設定した位置まで釣り糸を巻き上げた際に自動で停止する機能です。



■船べり停止位置の設定方法

魚の取り込み、エサの取り替え、仕掛けの取り込みに適した位置で、船べり停止スイッチを長押し(2秒)してください。液晶画面のカウンター数値が 0.0 に切り替わり、次回の巻き上げ時はこの位置で自動停止します。

船べり停止位置は釣り糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少ズレることがあります。その場合は再度停止位置を決めて、船べり停止スイッチを押してください。



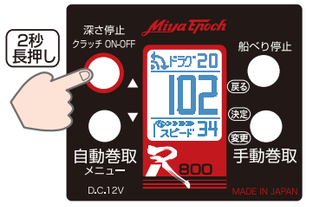
深さ停止機能 クラッチ機能使用時のみ

深さ停止とは、任意のメートル数の位置でタナを記憶させ、次回投入時にその位置で釣り糸の出を止める機能です。(クラッチ機能使用時のみ)

■深さ停止の設定方法

右記図で記憶させたいタナで深さ停止スイッチを長押し(2秒)すると、その深さを記憶し、102 と表示します。次回投入時からは記憶した深さ(タナ)で自動的にクラッチがONになり、釣り糸の出が止まります。深さ停止位置を変更するには、変更したいタナで再度スイッチを長押し(2秒)してください。記憶を解除する場合は、船べり停止位置で深さ停止スイッチを長押し(2秒)、液晶の 102 表示が消え、スピード34 表示になれば記憶は解除されています。

＊コントロールレバーが『ドラグ0』の位置では停止しません。
＊コントロールレバーを奥に倒し適切なドラグ力を設定してください。

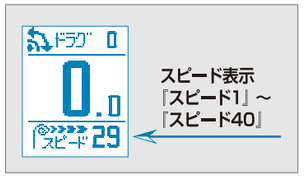


深さ停止で止まる時は、コントロールレバーで設定したドラグ力で停止します。停止後、すぐに魚がかかった場合にも対応することができます。設定したドラグ力で停止するため、設定ドラグ力が弱い場合や糸を繰り出す力が大きい時は、深さ停止位置で止まらない場合があります。

スピードレバー

●自動巻取で巻き取り中にスピードレバーを回すことにより、巻取速度を調整することができます。
●低速『スピード１』から高速『スピード40』までの無段階速度制御です。

船べり停止位置の手前では、自動巻取の巻き取り中はスロートストップ制御が働き、巻取速度を徐々に減速し停止します。



シフトレバー

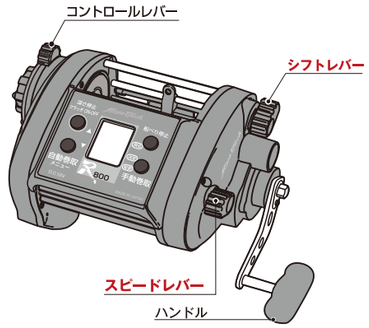
スピードモードとパワーモードを切り替えることができます。

■スピードモード 手前側

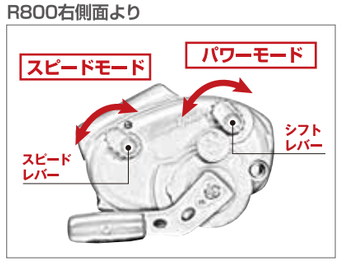
＊スピードを重視する仕掛け回収などに使用してください。巻き取り中に負荷が変動し巻き取りスピードが遅くなった場合はパワーモードに切り替え、巻き上げを行ってください。
＊手巻きギヤ比が1：5 になり、ハンドルでの巻き取りスピードが速くなります。(ハンドルでの巻き上げ負荷は大きくなります)

■パワーモード 奥 側

＊魚がヒットした時などパワーを重視する時に使用してください。
＊手巻きギヤ比が1：1.8になりハンドルでの巻き取りがパワーアップします。



R800右側面より



◎シフトレバーを中途半端な位置で止めるとクラッチが噛み合わず異音が発生し故障の原因になります。
◎巻き上げ時に高負荷がかかっている場合は、パワーモードからスピードモードへの切り替えは行わないでください。
❶モーターの負荷が増大し過負荷停止制御が働き、巻き上げができなくなることがあります。
❷クラッチが噛み合わず異音が発生する場合があります。スピードモードに切り替える場合は、低負荷になってから行ってください。

メニュー画面

明るさ設定画面

液晶画面の明るさは、変更スイッチで5段階に調整できます。
▲ 明るい⇐ +2 +1 0 -1 -2 ⇒ 暗い ▼
明るさを +1 に変更する場合は +1 画面を表示し
決定スイッチを押します。

色設定画面

液晶画面の色は、変更スイッチで変更することができます。
▲ ⇐ 紫 緑 青 黄 桃 白 ⇒ ▼
色を 青 に変更する場合は 青 画面を表示し
決定スイッチを押します。

糸巻設定画面 (P9~P12参照)

釣り糸をリールに巻き取る時に設定する必要があります。
＊下巻設定『下巻 無』『下巻 有』
＊号数設定『号数設定5号・6号・8号・10号・12号・15号・20号』
＊下巻き確認画面『下巻 無』『下巻 有』
＊巻き取り画面『停止中』『巻取中』

糸巻補正設定画面 (P14参照)

釣り糸の補正を行います。
＊『糸継ぎ』釣り糸を継ぎ足した時に使用。

手動巻取設定画面 (P15参照)

手動巻取スイッチでの巻き取りスピードを設定します。
初期設定は『手動巻取 最高速』になっています。
＊『手動巻取 最高速』最高速での巻き上げを行います。
＊『手動巻取 可変』スピードレバーの位置に依存します。

記録データ確認画面

リールの使用履歴を確認することができます。
＊『運転時間』電動巻き取りされた総時間(h)を表示します。
＊『総巻上』電動巻き取りされた総距離数(km)を表示します。

その他の表示画面

■温度異常表示(P15参照)
モーターや基板の温度が高くなると『温度異常』と表示します。
■点検時期のお知らせ表示
運転時間1000時間または総巻上距離1000kmに達すると、オープニング画面の後に『点検時期です』と3秒間点滅しお知らせします。弊社アフターサービスで点検を受けて頂けると『点検時期です』表示が消えます。

トラブル時の交換方法

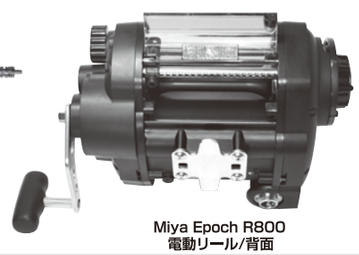
■トラバースカムの交換方法

Miya Epoch R800 では新機構として、トラバースカムの交換機構を備えています。
トラバースカムが壊れた場合は、新しいトラバースカムと交換してください。
(トラバースカムは、お近くの販売店でご購入ください)

トラバースカムキャップを外し、トラバースカムを取り出してください。新しいトラバースカムを取り外した時と逆の方法で取り付けます。
※うまく取り出せない場合は変形している可能性もありますので修理に出してください。

トラバースカムキャップ

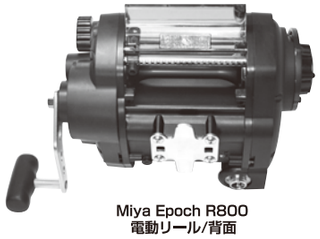
トラバースカム


Miya Epoch R800
電動リール/背面

■レベラインの交換方法

レベラインが壊れた場合は、新しいレベラインと交換してください。
(レベラインは、お近くの販売店でご購入ください)

❶ガイドホルダーに糸を通し、ガイドホルダーと糸の位置が左端もしくは右端にくるように糸を出します。
❷レベラインナット・レベラインを取り外し、ガイドホルダー・糸・トラバースギヤ部組の溝が左端もしくは右端になっていることを確認し取り付けます。


Miya Epoch R800
電動リール/背面

おかしいな？と思ったら

症状	原因と思われるもの	対策
電源が入らない	電源は正しく接続されていますか	クリップやプラグが外れていませんか。正しく接続してください
	電源コードは破損していませんか	コードを新品と交換してください
	バッテリーの電圧は正常ですか	電圧の確認をしてください DC-12V=10.6V～18.9V DC-24V=20.1V～31.9V
自動巻取が動かない	画面が船べり停止位置になっていませんか	0.0 船べり停止位置以外で自動巻取スイッチを押してください
クラッチON-OFFスイッチが動かない	コントロールレバーがフリーの位置になっていませんか	コントロールレバーを奥に押しドラグをしめた状態でクラッチON-OFFスイッチをご使用ください
温度異常表示が消えない	リールが高温になっていませんか	冷却すれば温度異常の表示が消え、正常に動作するようになります
メートル表示が正しくない	釣り糸にかかる負荷による伸びと、巻き取り負荷の大小によってメートル表示に誤差が生じます	ミヤ・ディープセンサー(当社指定 PE ライン)をご使用ください。それ以外の糸を使用した場合は誤差が生じます
深さ停止機能で止まらない	コントロールレバーをフリーの位置にし、釣り糸を出していませんか	コントロールレバーを奥に押しドラグをしめた状態で、クラッチ ON-OFF スイッチで釣り糸を出してください
	深さ停止を設定していますか	深さ停止を設定してください

⚠ 注意
釣りを止める場合は、必ずコントロールレバーを手前(ゆるめる側)に移動させ『ドラグフリー』の表示がされていることを確認し、電源コードを抜いてください。コントロールレバーは電気式のため電源が入っていない状態では、ドラグ力の調整はできません。

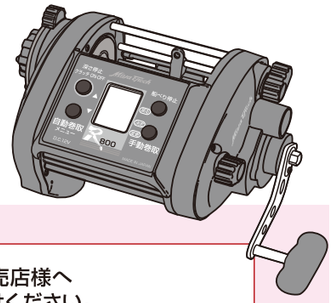
※内容を確認しても正常に戻らない場合や、他の故障が生じ修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または弊社アフターサービスにお問い合わせください。

アフターサービスのお問い合わせ

株式会社 ミヤマエ
ミヤエボック事業部アフターサービス
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本 1-2-32
TEL(06)6782-0035 FAX(06)6782-0040

アフターサービスについて

電動リールの調子が悪い場合は、ご購入いただいた販売店に修理をご依頼ください。その際には必ず、修理箇所・不具合内容を具体的にお知らせください。『例：釣り糸の出がわるい。』またオーバーホールも同様に販売店にご依頼ください。電動リールを末長く快適にご使用されるためにも、年に１～2 回はオーバーホールに出されることをお勧めします。(有償)



修理・オーバーホールご依頼の流れ

❶製品お預け
お客様が販売店様へ製品をお預けください。

↓

❷製品検査
販売店様からミヤエポック・アフターサービスにお預かり製品の送付後、製品検査を行います。

↓

❸見積もり内容のご連絡
ミヤエポック・アフターサービスから販売店様にお見積もり内容をご連絡致します。

↓

❹見積もり内容のご確認
お客様は販売店様から見積もり内容をご確認ください。ご了承後、修理・オーバーホールを行います。

↓

❺修理・オーバーホールの終了
ミヤエポック・アフターサービスから販売店様に製品を送付致します。

↓

❻製品のお受け取り
お客様は販売店様から製品をお受け取りください。

電動リールのお手入れについて

■本機は完全防水 (0.3 気圧) ですので、ご使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流し、柔らかい布で拭き取ってください。
■シンナー等の有機溶剤系での洗浄・お手入れはお止めください。オイル拭きでのお手入れの際は、鉱物系ではなくフッ素系の物をお使いください。
■電動リールのコンセント部、電源コードのプラグ部、グリップ部、ガイドホルダー部は塩分および水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗ってください。
■電動リールを使用しない時は、電源が入った状態でコントロールレバーを手前に引きスプールをフリーの状態にして保管してください。